

「この人 84」

伊藤洋二 67歳 愛媛県

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

伊 藤 転勤で地元松山に帰り、馴染みのスナックでの句会に参加したことがきっかけで俳句を始めました。その句会で八木会長よりご指導いただき、十七文字の限りない言霊を極めると決意しました。お仲間のお誘いの賜物でもあります。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

伊 藤 楽しいです。その中に森羅万象の真実が顕れて思わず唸る「うーん」。素晴らしいです。それと自分の句が活字となり多くの方に読んでいただけたところですね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

伊 藤 ゴルフで言えば、チップイン。カラオケで言えば八十八点。人生では「生き甲斐」。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

伊 藤 第一打席でヒットが打てたこと。毎月の会報が待ち遠しいこと。全国にお仲間が増えること。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何かでしょうか。

伊 藤 「ひらめき」と「勇気」、そして勉強です。

【代表句】

皺の数额の幅を越えにけり
秋燕や空き巣の鍵を預け往く
起立して黙禱を待つ日傘かな
この世からあの世から観る遠花火
初メロンかも知れぬこの不在票